



2021年5月25日

## S&P がコロンビアを格下げ

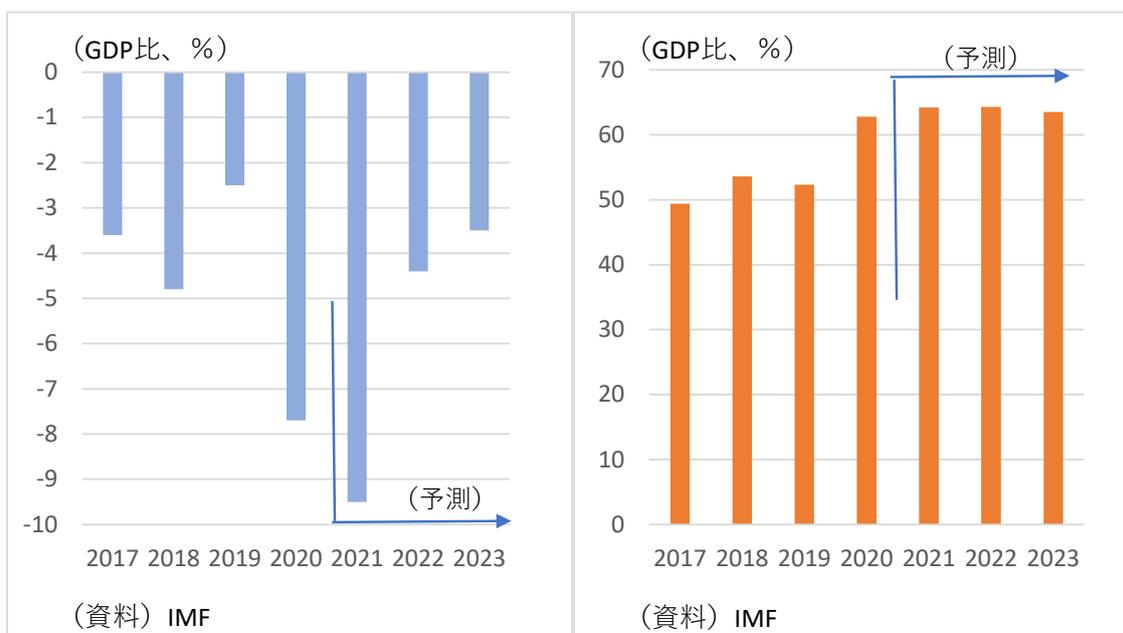
公益財団法人 国際通貨研究所  
経済調査部 上席研究員 森川 央

米格付大手の S&P グローバル・レーティングスは 19 日、コロンビアの外貨建ての長期債の格付けを投資適格の BBB-(トリプル B マイナス)から投資不適格 (ジャンク) の BB+ (ダブル B プラス) に 1 段階引き下げた。コロンビアは、約 10 年間維持してきた S&P による投資適格を失った。

新型コロナ流行前、コロンビアの財政赤字は GDP 比 3.6% (2017~2019 年平均) であったが、2020 年は新型コロナによる不況と景気対策のため同 7.7% に拡大し、2021 年も同 9.5% に悪化する見通しである (IMF による予測、図 1)。この結果、同国の公的債務残高 (グロス) は 2019 年の GDP 比 52.3% から 10.3 ポイント上昇し、2020 年には同 62.8% となった (図 2)。

図 1 中央政府の財政収支

図 2 公的債務残高 (グロス)



コロンビア政府は、財政再建のため増税・歳出削減を企図していたが国民の反対が強く、各地でデモが発生し死傷者も出るなか、4月に議会へ提出された税制改革案の撤回

を余儀なくされた。S&Pはこれを受け、「財政状況の改善がより緩やかになり長期化すると見込まれる」ことから、格下げに踏み切ったものである。

不透明感はこれだけではない。同国の新型コロナ新規陽性者数は3月下旬から急増しており、第3波の様相を示している。変異株の流入が疑われる。

税制改革案の撤回にもかかわらず、デモは収束していない。南米サッカー連盟は6月～7月にアルゼンチン・コロンビアで共催する予定だった南米選手権について、コロンビアでの開催取りやめを決定した。

IMFによると2021年の成長率は5.1%に上昇する予想になっているが、そのためには新型コロナの流行収束、ワクチン接種の拡大、ロックダウンは限定的にとどまるというシナリオが前提とされている。だが、前提はすでに崩れ始めている。

図3 コロンビアの新型コロナ感染状況



以上

Copyright 2021 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: Nihon Life Nihonbashi Bldg., 8F 2-13-12, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0027, Japan

Telephone: 81-3-3510-0882

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8 階

電話: 03-3510-0882 (代)

e-mail: [admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)

URL: <https://www.iima.or.jp>

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。